



文化庁メディア芸術祭国内巡回事業

「GUNMA マンガ・アニメフェスタ」巡回企画を実施

「文化庁メディア芸術祭国内巡回事業」(主催:文化庁/企画・運営:一般財団法人NHKインターナショナル)では、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を中心としたメディアアート、映像、ウェブ、ゲーム、アニメーション、マンガ等の優れた作品を、国内各地のメディア芸術関連施設やフェスティバル等にて展示・上映しています。

2月8日(土)から11日(火・祝)に開催される「第1回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ」では、文化庁メディア芸術祭アニメーション部門で数々の受賞歴を誇る、群馬県出身の原恵一監督作品を特別上映します。あわせて、原監督の歴代受賞作品の絵コンテや設定資料などを展示します。また、第16回文化庁メディア芸術祭受賞作品のプログラム上映、マンガ部門受賞作品の閲覧コーナーを設置します。

■実施概要

文化庁メディア芸術祭国内巡回事業

「第1回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ」巡回企画(展示、上映)

会期:2014年2月8日(土)～2月11日(火・祝)

料金:無料

<特別上映>

日時:2月9日(日)12:30～14:50

会場:ベシシア文化ホール・小ホール

作品:劇場アニメーション『河童のクウと夏休み』(第11回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞)

※上映に引き続き、15:00よりGUNMAマンガ・アニメフェスタ主催による原恵一監督のトークイベントを実施します。

<特別展示(絵コンテ(原画)/設定資料(複製))>

原恵一監督 文化庁メディア芸術祭受賞作品クロニクル

会期:2月8日(土)～2月11日(火・祝)10:00～17:00

会場:ベシシア文化ホール・展示室

<上映>

「第16回文化庁メディア芸術祭受賞作品—アニメーションプログラム—(90分)」

日時:2月10日(月)①10:30～12:00 ②14:30～16:00

会場:ベシシア文化ホール・小ホール

「第16回文化庁メディア芸術祭受賞作品—映像プログラム—(120分)」

日時:2月8日(土)～2月11日(火・祝)①10:30～12:30 ②14:00～16:00

会場:ベシシア文化ホール・特設シアター(503会議室)

※このほか、展示室で文化庁メディア芸術祭歴代大賞作品を紹介。展示室には、マンガの受賞作品閲覧コーナーも設置します。

主催:文化庁

企画・運営:一般財団法人NHKインターナショナル

公式ウェブサイト:<http://jmaf-promote.jp/>



1. 文化庁メディア芸術祭について

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。平成9年度(1997年)の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。今年度[第17回]は、過去最多となる世界84の国と地域から4,347点に及ぶ作品の応募があり、文化庁メディア芸術祭は国際的なフェスティバルへと成長を続けています。

また、文化庁では、メディア芸術の創造とその発展を図ることを目的に、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を国内外で広く紹介する多彩な事業を実施しています。海外・国内展開をはじめ、創作活動支援や連携推進までを含む関連事業を通し、次代を見据えたフェスティバルを目指しています。



昨年度[第16回]文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子 提供:文化庁メディア芸術祭事務局

2. 「第1回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ」について

群馬県初のマンガとアニメの祭典「第1回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ」は、昭和52年から続く、「県民芸術祭」の一環として新たに開催される「メディア芸術」の楽しさと魅力を紹介するフェスティバルです。県内外からマンガとアニメーション作品を公募し、入選作品、受賞作品を展示、上映します。

■開催概要

名称: 第1回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ

会期: 2014年2月8日(土) ~ 2月11日(火・祝) 4日間

会場: ベイシア文化ホール(群馬県民会館) 展示室、小ホール ほか

主催: 群馬県、公益財団法人群馬県教育文化事業団

料金: 無料

お問い合わせ: 公益財団法人群馬県教育文化事業団

TEL: 027-224-3960 FAX: 027-221-4082

<http://www.gunmabunkazigyodan.or.jp/>





【文化庁メディア芸術祭国内巡回事業
「GUNMA マンガ・アニメフェスタ」巡回企画について】

会期：2014年2月8日(土)～2月11日(火・祝)

■特別上映

群馬県出身で、文化庁メディア芸術祭アニメーション部門で数々の受賞歴を誇る、原恵一監督作品『河童のクゥと夏休み』を特別上映します。

『河童のクゥと夏休み』 劇場アニメーション(第11回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞)138分
日時：2月9日(日)12:30～14:50
会場：ベイシア文化ホール・小ホール(先着500名)



『河童のクゥと夏休み』

©2007 木暮正夫 / 「河童のクゥと夏休み」製作委員会

小学生の康一が、偶然拾ってきてしまった河童の子供クゥ。ある日、河童の仲間を探すために、河童の伝説が残る遠野へ、クゥと一緒に旅に出る。康一とクゥの交流を通して、人間の優しさ・醜さ、社会の怖さ・歪み、そして家族の大切さなどを見事な脚本と演出で描き出した作品。



原 恵一

1959年生まれ。群馬県出身。PR映画の制作会社を経てアニメ制作会社に入社し、「エスパー魔美」をはじめ数々のアニメの演出を手掛ける。『クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ モーレツ! オトナ帝国の逆襲』(2001年)はじめ、『クレヨンしんちゃん嵐を呼ぶ アッパレ! 戦国大合戦』(2002年)は、第6回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞や第57回毎日映画コンクール・アニメーション映画賞など多数の賞を受賞し、大人も子供も涙する作品として話題となった。その後も『河童のクゥと夏休み』(2007年)やアヌシー国際アニメーション映画祭で特別賞と観客賞を受賞した『カラフル』(2010年)など精力的に作品を作り続け、国内外で高い評価を得ている。2013年には敬愛する木下恵介監督の実話を描いた『はじまりのみち』で実写監督デビューを果たし大きな話題となる。

提供：松竹株式会社

■トークイベント(主催：GUNMA マンガ・アニメフェスタ)

「アニメーションのリアル、実写のアンリアル」

出演：原 恵一(第6回・第11回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞、第14回優秀賞)

氷川 竜介(第14回～第16回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門審査委員/アニメーション評論家)

「クレヨンしんちゃん」シリーズをはじめ数々のアニメーション作品の監督をつとめてきた原恵一監督。2013年には、木下恵介生誕100年プロジェクトの一環として制作された『はじまりのみち』

(松竹)で、初めて実写映画に挑戦しました。アニメーション作品で「リアル」にこだわってきた原監督は、実写映画の制作を通して何を感じ、何を得たのでしょうか。

文化庁メディア芸術祭で多数の受賞歴をもつ原恵一監督のスペシャルトークです。

日時：2月9日(日)15:00～16:30

会場：ベイシア文化ホール・小ホール(先着500名)

氷川 竜介

1958年、兵庫県生まれ。東京工業大学工学部電気電子工学科卒業。在学中からアニメーション特撮専門のマスコミで、雑誌編集、音楽アルバム構成、執筆などの活動を行なう。IT系企業での技術者・管理職経験を経て文筆業で独立。雑誌やビデオグラム、ウェブなどに多角的な解説文を提供。テレビ番組『BSアニメ夜話』では「アニメマエストロ」のコーナーを担当、バンダイチャンネルのネット配信作品解説、池袋コミュニティ・カレッジで講師を務めるなど多方面で活躍中。著書に『20年目のザンボット3』(太田出版、1997)、『アキラ・アーカイヴ』(講談社、2002)など。



■ 展示

『原恵一監督 文化庁メディア芸術祭受賞作品クロニクル』

文化庁メディア芸術祭アニメーション部門で、大賞（第6回・第11回）、優秀賞（第14回）を受賞した3作品を、原監督直筆の絵コンテ（原画）やキャラクター設定資料（複製原画）などとともに紹介します。

会期：2月8日（土）～2月11日（火・祝）10：00～17：00

会場：ベイシア文化ホール・展示室

『クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ アッパレ！戦国大合戦』（第6回アニメーション部門大賞）

春日部で平和に暮らしていたしんのすけが何故か突然戦国時代へとタイムスリップしてしまう。そこでひよんなことから、歴史上討たれるはずだった侍を救ってしまう。しんのすけは、戦国時代でも大暴れ。後から何とか車で（？）追っかけてきたひろし達とも再会をするものの、歴史の荒波は一家を大きく変えていく…果たしてしんのすけ達はどうなるのか？そして、変えられてしまった歴史はどうなるのか？

『河童のクウと夏休み』（第11回アニメーション部門大賞）

小学生の康一が、偶然拾ってきてしまった河童の子供クウ。ある日、河童の仲間を探すために、河童の伝説が残る遠野へ、クウと一緒に旅に出る。康一とクウの交流を通して、人間の優しさ・醜さ、社会の怖さ・歪み、そして家族の大切さなどを見事な脚本と演出で描き出した作品。

『カラフル』（第14回アニメーション部門優秀賞）

森絵都の小説をアニメ化。突然現れた天使のような存在、プラプラによって、天上界と下界の間で漂っていた「ぼく」の魂は、自殺してしまった中学生の少年・小林真の体に入り込み、人生の再挑戦をすることに。真が死を選んだ理由を知り、真と同じ生活を体験する中、この再挑戦の意味を考えるようになった「ぼく」は「ある事」に気が付き始める。



『クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ アッパレ！戦国大合戦』
© 臼井儀人 / 双葉社・シンエイ・テレビ朝日2002



『カラフル』
© 2010 森絵都 / 「カラフル」製作委員会



■ 上映

—ホール上映—

「第16回文化庁メディア芸術祭受賞作品—アニメーションプログラム— (90分)」

国内外から優れた作品を募集し、表彰する文化庁メディア芸術祭。江戸の大火事を舞台とした「火要鎮（ひのようじん）」や、ウサギを崇拜する人々を描いた「グレートラビット」、その他、手描きや人形アニメーションなど海外でも評価の高い受賞作品を中心として選んだ12作品、90分のプログラムです。

日時：2月10日（月）①10：30～12：00 ②14：30～16：00

会場：ベイシア文化ホール・小ホール（先着500名）

—特設シアター上映—

「第16回文化庁メディア芸術祭受賞作品—映像プログラム— (120分)」

平成24年度〔第16回〕アート、エンターテインメント、アニメーション各部門の受賞作品と審査委員会推薦作品の中から、短編アニメーションやビデオアート、ミュージックビデオなど、多様な短編映像作品により編成した18作品、120分のプログラムです。

日時：2月8日（土）～2月11日（火・祝）①10：30～12：30 ②14：00～16：00

会場：ベイシア文化ホール・特設シアター（503会議室）

■マンガ閲覧コーナー（第16回文化庁メディア芸術祭マンガ部門受賞作品）

会期：2月8日（土）～2月11日（火・祝）10：00～17：00

会場：ベイシア文化ホール・展示室

●作品一覧

作品名	作家名	賞
闇の国々	ブノワ・ペータース／フランソワ・スクイテン 訳：古永 真一／原 正人	大賞
岳 みんなの山	石塚 真一	優秀賞
ましろのおと	羅川 真里茂	優秀賞
ムチャチヨ - ある少年の革命	エマニュエル・ルパージュ	優秀賞
GUNSLINGER GIRL	相田 裕	優秀賞
凍りの掌 シベリア抑留記	おざわ ゆき	新人賞
千年万年りんごの子	田中 相	新人賞
ぼくらのフンカ祭	真造 圭伍	新人賞

【NHKインターナショナル】

NHKインターナショナルは、文化庁が主催する文化庁メディア芸術祭の関連事業である「国内巡回事業」の企画運営を受託し、日本のメディア芸術の発展に努めています。

【お問い合わせ】

文化庁メディア芸術祭国内巡回事業事務局（一般財団法人NHKインターナショナル内）
TEL: 03-6415-8500 FAX: 03-6415-8502 E-mail: jmaf-info@nhkint.or.jp